

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部門長兼部長 兼理事兼副院長兼血液内科主任部長 兼診療支援局長兼臨床研修センター長	烏野 隆博
DI 室長	森朝 紀文
参 事	出山 恭隆
主 幹	中川 直樹
主 査	高橋 和代
主 査	泉原 里絵
主 査	安井 結香里
主 査	若林 里絵
主 査	西井 拓人
主 査	北庄司 敦久
	河津 敏明
	宮本 紅喜
	松浪 美和 (育休)
	原 訓子
	小垣 睦
	南 佳代
	山道 麻葉
	上田 祥子
	伊藤 健二
	中川 貴弘
	藪内 新平
	松本 光司 (休職)
	越山 晶弘
	西田 愉可利
	小林 洋平
	奥田 剛史
	間屋 壮美
	釜野 健太郎

—概要—

薬剤科では、調剤、注射薬の無菌混合調製や服薬指導等のさまざまな業務を行っている。特に、2012年度の診療報酬の改定により、病院薬剤師の念願であった病棟薬剤業務実施加算が新設されたのを受け、全病棟に病棟専任薬剤師を配置し、オーダ入力支援等の新しい業務を実施している。

厚生労働省医政局通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」が発出され、薬剤師がチーム医療に参画することが求められており、当院では感染対策チーム (ICT)、栄養サポートチーム (NST)、褥瘡対策チーム、緩和ケアチームに積極的に参加し、医師、看護師等と共に多職種で病棟ラウンドを実施している。特に、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) では、専任薬剤師を配置し、薬の専門家として積極的に適正使用を推進している。また、生活習慣病予防教室にも参加し、薬剤師が薬に関する患者向けの講習会を行っている。薬剤科では今後とも、質の高い病棟薬剤業務の実践と有効かつ安全な薬物療法を提

供するため、以下の4項目を基本的な理念としている。

《基本理念》

1. 薬の専門家として、患者さんにとって有益な薬物療法を提供する。
2. 薬によるインシデント・アクシデントを減少させ、安全な薬物療法を提供する。
3. 臨床薬剤師として医療チームに貢献する。
4. 薬剤師の職能を高めるため、研究心を持って日々努力する。

—実績—

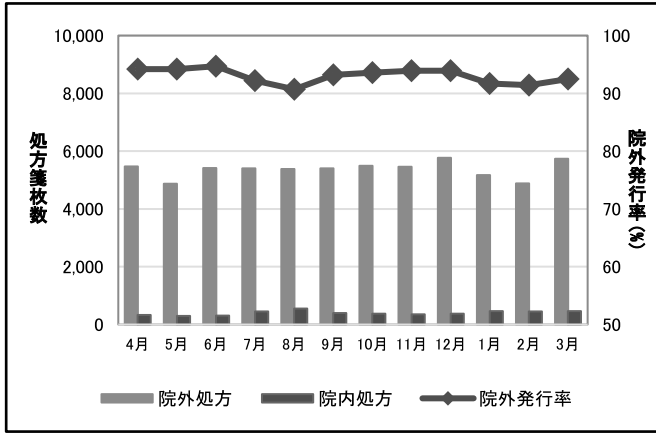
2000年4月より、病院運営の一環として、「医薬分業の徹底と薬剤科病棟業務の充実」に基づき、全面院外処方せん発行を行い、2021年度月平均の発行率は93.0%を達成している(グラフ1)。

薬剤管理指導業務における服薬指導実施患者数及び指導件数については、月平均の指導患者数735名、指導件数906件(退院加算243件)と順調な推移を示している(グラフ2)。

また、無菌製剤処理加算の施設基準を2001年3月に取得し、TPN製剤の調製を行っているが、2010年8月より一般の点滴を含めた全ての注射薬の無菌混合調製を行っている。2021年度における混合調製の実績として、調製本数は月平均890本、年間10,689本となっている(グラフ3)。

次に、外来の抗がん薬の混合調製を2002年8月より開始し、2004年12月より外来・入院の全患者について、抗がん薬のレジメンの一元管理と調製を実施している。2021年度における実績は月平均386名、年間4,629名の患者に調製を行い、調製本数は月平均539本、年間6,470本となっている(グラフ4)。また、2014年4月より外来がん治療センターにがん薬物療法認定薬剤師を配置し、がん患者指導料を月平均約41件算定している。

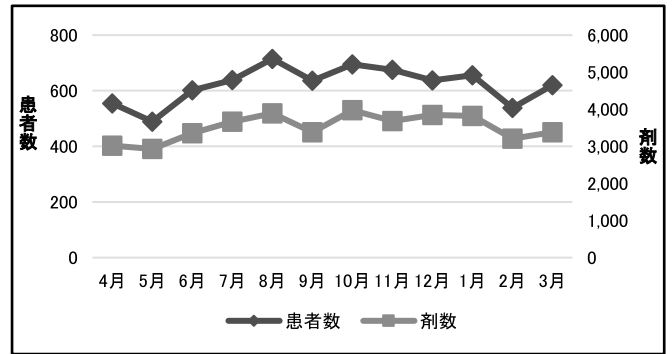
さらに、患者サポートセンターと病棟において、全ての入院患者における薬剤師による持参薬の鑑別を2008年4月より開始している。2021年度における実績は月平均621人、3,515剤となった(グラフ5)。



(グラフ1) 2021年度処方箋枚数と院外処方箋発行率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院外処方	5,466	4,874	5,417	5,401	5,379	5,403	5,492	5,456	5,765	5,171	4,879	5,737
院内処方	334	298	304	456	554	397	376	354	376	467	457	462

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	439	331	354	363	368	403	379	437	372	407	384	392
調整本数	581	444	490	505	548	601	546	621	498	562	533	541



(グラフ5) 2021年度持参薬鑑別患者数・剤数

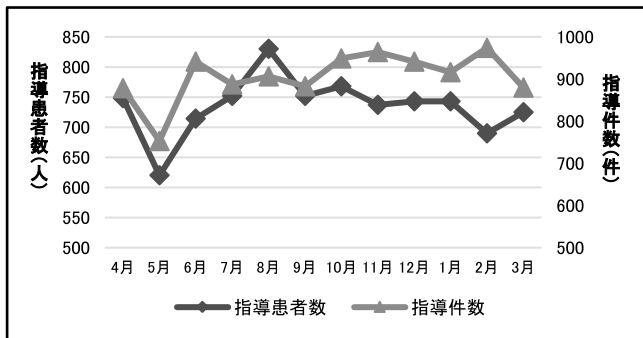
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	554	489	602	638	715	636	695	675	637	656	538	620
剤数	3,017	2,931	3,359	3,664	3,889	3,384	3,973	3,686	3,850	3,824	3,213	3,386

—今年度の成果と反省点—

薬剤科が病院全体、あるいは患者のニーズに合った業務ができるように、各職種と連携を取っていくための委員会として薬剤科運営委員会は発足したが、まだ十分その機能を発揮できていない。しかし、患者サポートセンターとの連携で、入院後に検査や手術が延期等にならないように抗凝固剤の鑑別を行っていくこととなった。今後も循環器内科系での鑑別サポートにその運用を広げていきたい。

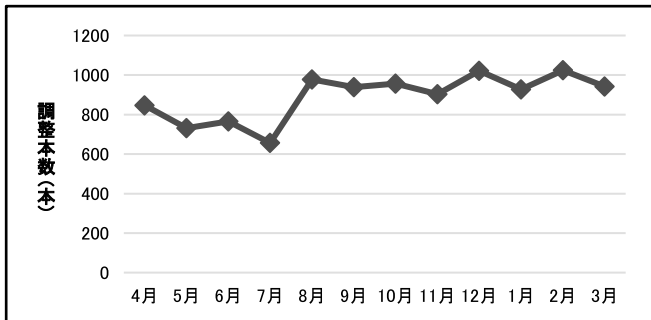
—来年度への抱負—

服薬指導や各病棟への薬剤師配置に関して、十分にそのニーズに対応できるように今後、業務整理をしていく。その中で、薬剤師助手の採用を病院に働きかけ、薬剤師として介入すべき業務を広げていく。



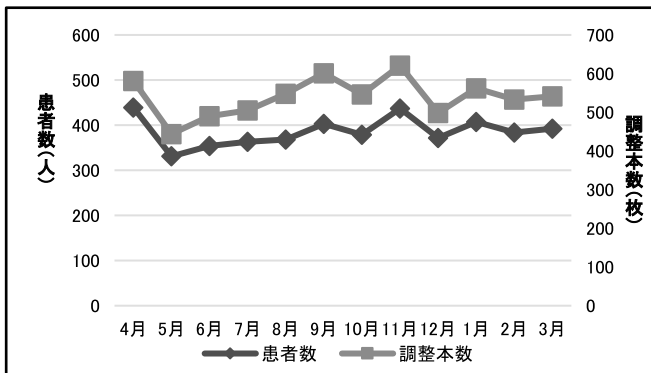
(グラフ2) 2021年度服薬指導実施人数・件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導患者数	748	620	714	752	830	752	768	737	743	743	690	725
指導件数	878	753	941	887	906	883	949	964	941	916	974	880



(グラフ3) 2021年度注射薬無菌調製本数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調製本数	846	731	766	656	977	938	957	903	1,021	928	1,024	942



(グラフ4) 2021年度抗がん薬調製患者数・調製本数